

第59回東海高等学校総合体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 16A3

開催場所: 飛騨高山ビッグアリーナ

試合区分: 男子2回戦

開催期日: 2012年6月16日 (土)

開始時間: 14:20

主審: 坂井元直

副審: 青山宜正

Team A 美濃加茂 (岐阜1位)	○ 89	● 76	Team B 中部大第一 (愛知2位)
	26 -1st- 19 15 -2nd- 18 25 -3rd- 16 23 -4th- 23		

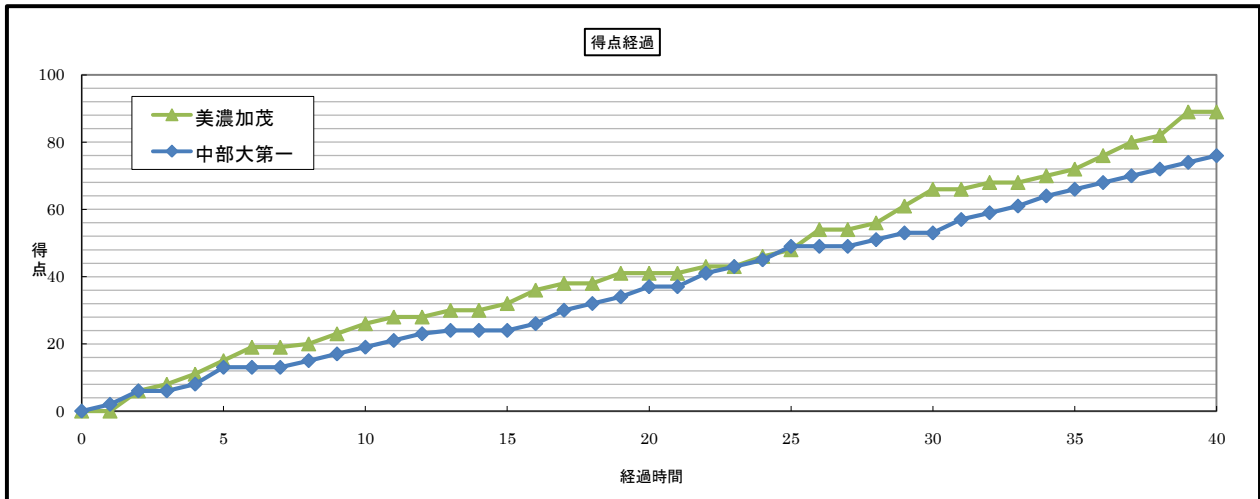
TEAM A		美濃加茂 (岐阜1位)							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		一原 大介	-	-	-	-	-	-	-
5	*	高橋 駿輔(C)	27	5	5	2	1	2	1
6	*	范 天驥	13	1	5	0	3	10	0
7	*	黒木 怜雄	16	0	7	2	0	2	9
8	*	赤土 裕典	19	0	9	1	2	11	3
9		松田 敦	-	-	-	-	-	-	-
10		木村 祐太	0	0	0	0	0	0	0
11		堂藤 幹平	-	-	-	-	-	-	-
12	*	坂之下涼太	14	3	2	1	1	0	2
13		武藤 崇正	0	0	0	0	1	1	0
14		海津 隆太	-	-	-	-	-	-	-
15		仲真 良	-	-	-	-	-	-	-
16		安藤翔太郎	-	-	-	-	-	-	-
17		真鍋 良太	-	-	-	-	-	-	-
18		沼田 景佑	-	-	-	-	-	-	-
Coach		林 龍幸					0		
TOTAL			89	9	28	6	8	26	15

TEAM B		中部大第一 (愛知2位)							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	彦野 宗之(C)	4	0	2	0	0	3	4
5	*	斎藤 洋平	10	0	4	2	3	3	1
6		一戸 悠	0	0	0	0	1	1	1
7		高橋 一希	-	-	-	-	-	-	-
8	*	毕 光昊	24	0	12	0	2	13	2
9		井戸田圭介	0	0	0	0	0	0	0
10	*	鈴木 康平	13	0	6	1	3	1	3
11		栗原 堅	2	0	1	0	3	0	2
12	*	飯島 匡洋	7	1	2	0	3	2	5
13		丸山 高弘	16	0	7	2	1	2	1
14		野中 達矢	-	-	-	-	-	-	-
15		福岡 博貴	-	-	-	-	-	-	-
16		湯浅 貴成	0	0	0	0	1	0	0
17		坂本 秀斗	-	-	-	-	-	-	-
18		ビリシベ実会	-	-	-	-	-	-	-
Coach		常田 健					0		
TOTAL			76	1	34	5	17	25	19

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	19:11 -	23:27 30:24 -	-	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	14:29 16:21	24:40 34:14 36:44 -	-	-

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール R:リバウンド A:アシスト



1Q、両チーム共ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。美濃加茂は#6・#12・#5のミドルシュートで得点を重ねる。中部大第一は#8のインサイドで得点するも、美濃加茂#5の連続3Pで26-19とリードして1Q終了。
 2Q、美濃加茂#6・#8のインサイドで得点し、34-24とリードしたところで中部大第一がタイムアウト。#8のインサイドで対抗するも、逆に点差を広げられ、36-26で2回目のタイムアウトを取る。その後中部大第一は#5・#8がインサイドで連続得点し、#12の3Pで点差を詰めるが、41-37美濃加茂リードのまま前半終了。
 3Q、美濃加茂にミスが続く、中部大第一#8のインサイド、#10の速攻で逆転に成功。たまたま美濃加茂がタイムアウトを取る。美濃加茂#5の3Pで逆転したところで、中部大第一#8が負傷退場する。ここから美濃加茂がオールコートマンツーマンディフェンスに変え、#6・#8のインサイド、#5・#12の3Pで突き放し、66-53と美濃加茂リードで3Q終了。
 4Q、中部大第一は2-2-1のオールコートゾーンプレスと2-3のゾーンディフェンスで美濃加茂のシュートミスを誘い、速攻と#8・#13のインサイドで70-64と追い上げる。美濃加茂もディフェンスを2-2-1のオールコートゾーンプレスに切り替え、これが功を奏し、最後は#5の3Pが決まり、89-76で美濃加茂が勝利し、準決勝進出を決めた。
 中部大第一は第3Qの#8の負傷退場が最後まで響いたゲームだった。

記載責任者 川畑直由季 (所属) 高山市バスケットボール協会